

令和6年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立十日市中学校	校長	藤井 清美	生徒指導主事	竹本 秀樹
取組事例名	『各種掲示物』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
生徒会執行部が中心となり、生徒会スローガンや年間を通しての掲示物を全校生徒参加型で作成することで積極的な生徒指導の確立と生徒が主体的に学校を良くしていく意欲を向上させる。また、教師と生徒と一緒に学校を良い方向へ変えていこうというチーム十日市中学校への意識を高めさせる。	自分が毎日通っている学校の良さを再発見し、全校生徒が一つになる取り組みを通して、生徒の自主性や自己肯定感、愛校心を育む。



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
<p>○生徒会が中心となり、自分たちの思いを地域や保護者の方に広く知ってもらおうと考え、生徒全員の協力のもと、ドット画を制作</p> <p>【縦10m、横7mのドット画は、模造紙を100枚使用し、2225個のドットを使用】</p> 	<p>生徒にめあてをもたせるために 全校生徒での取り組みのため、生徒会から全校朝会等を使用しテーマを周知した。全ての生徒が意欲的に取り組み、体育祭や文化祭の成功へとつなげた。また、その都度教員からも評価し生徒の主体性や自己肯定感の向上にも効果があった。</p>
<p>○7月掲示物 テーマ：七夕私の願い事 夏休みに頑張りたいこと</p> 	<p>生徒の意欲を高めるために 委員会だけの取り組みにせず、全校生徒を巻き込んで行うことが意欲向上へとつながった。</p>
<p>○9月掲示物【お月見】 テーマ：粘り強く頑張りたいこと</p> 	<p>生徒の頑張りを認め、価値付けるために 掲示期間が終わっても別の場所に掲示し、年間を通して振り返ることのできる仕組みとした。校舎内が明るくなり、休憩時間等にも見て歩く生徒が多かった。 生徒と教師全員が掲示物の取組に参加したことも一体感へとつながっている。</p>
<p>○12月【2024年の一文字】 テーマ：新たな年につながるように 今年の一文字を書こう。</p> 	



3 成果と課題

成果として、全校生徒参加をすることで掲示物の取り組みが後の体育祭や文化祭、各学年での掲示物の取り組みにもつながっていった。生徒が自分たちの頑張りが目標を常に感じながら生活できることは学校生活の意欲向上へもつながり、教育的効果もあった。

課題としては、不登校傾向生徒への配慮や次年度へのつながりが挙げられる。